

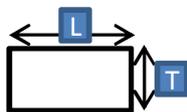
# EA627SA-3 ハンドシャー 取扱説明書

この度は当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

## ◆仕様

- 鉄板切断能力…厚み6mm
- 鉄丸棒切断能力(径)…13mm
- 鉄角材切断能力…70(L)x7(T)mm※
- 本体材質…スチール SS41
- 刃材質…合金工具鋼、JIS G4404(日本製)
- ハンドル長…9x38x900mm
- サイズ…360x150x390mm(本体)
- 重量…30.5kg

鉄角材※



## ⚠ 注意

1. ブレードは鋭く危険です。操作する時やブレードを交換する際は指に気を付けて下さい。
2. スプリングは取らないでください。ハンドルが下がり事故になるのを防ぎます。
3. 調整または交換の際は必ず、適切な工具を使用して下さい。素手で操作しないで下さい。
4. スムーズな動作を保持するため、台から本体を取りはずさないで下さい。
5. ボルトの緩みや可動部の注油等、定期的なメンテナンスを行って下さい。
6. ハンドルは常に綺麗にして下さい。  
操作する時は、安全手袋・保護メガネ・安全靴を身に付けて下さい。
7. 作業員以外は、本体から遠ざけて下さい。
8. 動作仕様は、本体にも記載されています。過負荷での使用は避けて下さい。
9. 部品を交換する必要がある場合、純正品の部品を選択して下さい。

## ◆切断材(ワーク)についての注意

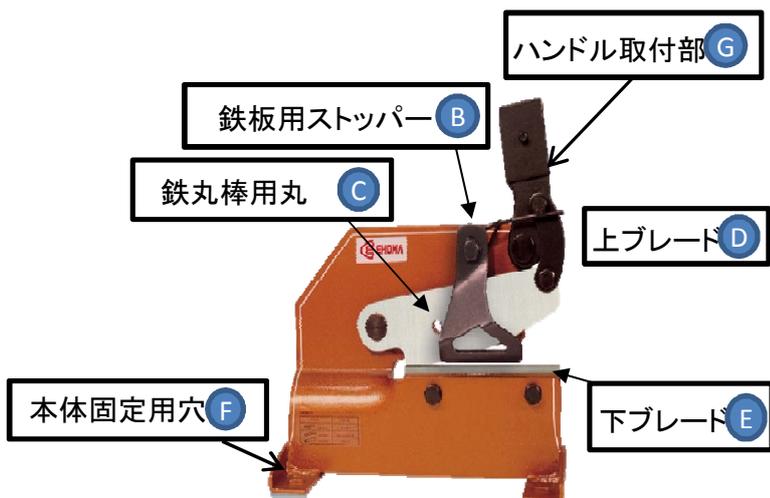
1. 切断材(ワーク)は、熱処理していないHRC15以下のワークが切断できます。
2. 切断材(ワーク)に溶接部がある場合は、溶接部分の切断は避けて下さい。

使用する前に、外観や部品を確認してください。

下記の事例が発生した場合は、直ちに使用を中止して下さい。

- ・フレームが曲がったり、割れている時。
- ・ブレードに亀裂が見られる時やブレードの切れ味が鈍い時。
- ・本体の部品が既に壊れたり、消耗している時。

## ◆各部名称

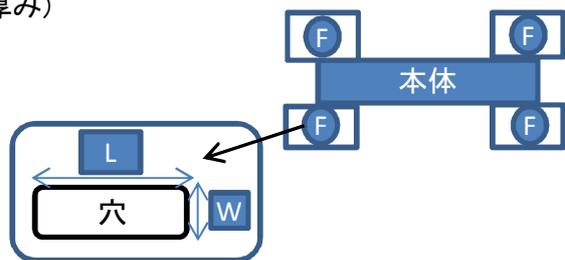


カッティングハンドル A をボルトとナットでハンドル取付部 G に取り付けます。

◆設置

M12またはW1/2のボルト4個とナット4個(別売)を固定可能な場所に本体を設置し、台に本体を固定して下さい。

本体穴 **F** のサイズ(mm):14.5(W)X23.5(L)X12(厚み)



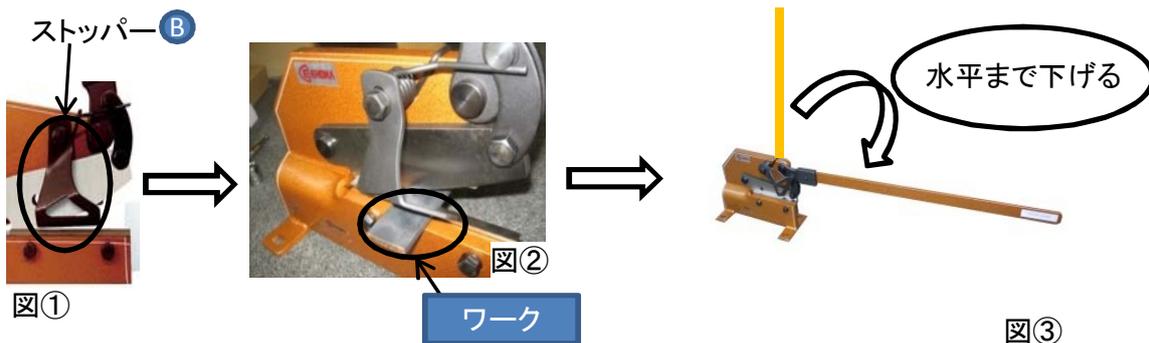
◆操作

ハンドル取付部 **G** にカッティングハンドル **A** を取り付け、ボルトで確実に固定します。

カッティング

● 鉄板・鉄角材の切断

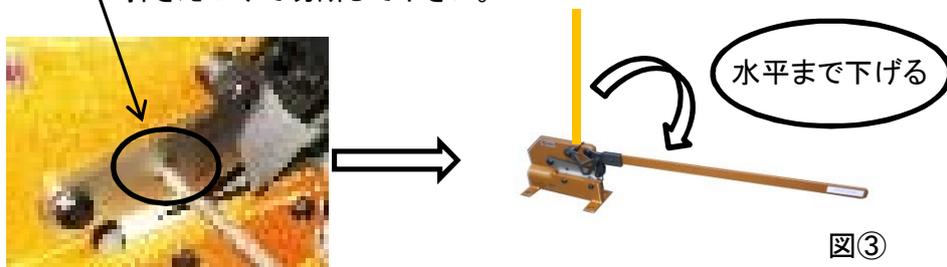
- 1、ワークを上ブレード **D** ・下ブレード **E** の間に水平に置き、鉄板用ストッパー **B** のボルトを緩めてワークにあて(下記、図①参照)、その位置で固定します。(下記、図②参照)
- 2、ワークを水平に保ち、カッティングハンドル **A** を水平になるまでしっかりとハンドルを押えつけて切断して下さい。(下記、図③参照)



必ず切断する前に、ワークに合うように鉄板用ストッパーの高さを調整して下さい。(ワークがずれてうまく切れない状態にならない様に、調整します)

● 鉄丸棒 の切断

- 丸刃 **C** に鉄丸棒を入れ、ハンドルを水平になるまで(下記、図③参照)しっかりと押さえつけて切断して下さい。



また、動画(同シリーズのEA627SE丸棒切断)のQRコードが右にありますので、そちらも合わせてご参考にして下さい。(動画中の赤丸印の位置で切断して下さい)



必ず鉄丸棒の切断は、丸刃のみを使用して下さい  
(上ブレードと下ブレードの部分を使用して鉄丸棒を切断するのは危険です。)

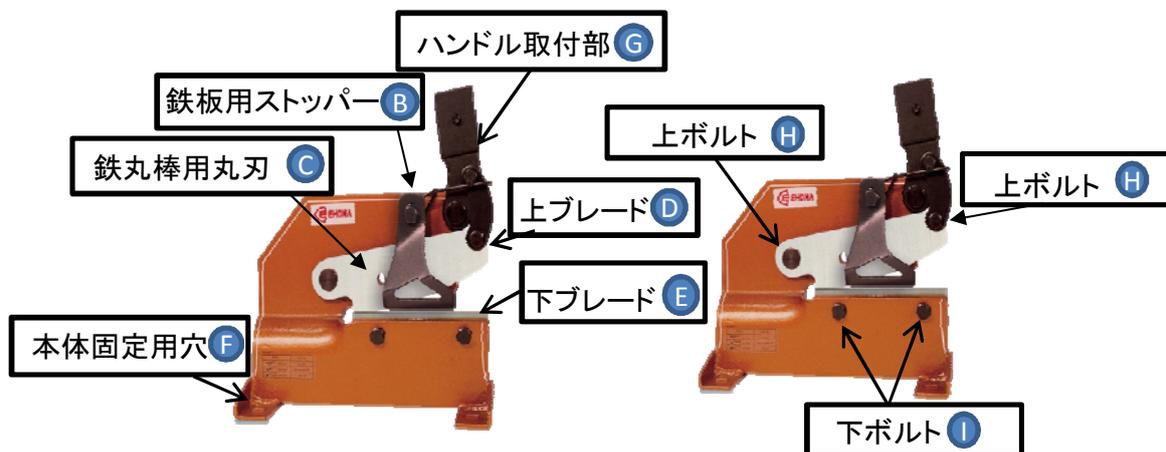
## ブレードの交換

### ●上ブレードと下ブレードの交換(下記、各部名称参照)

- ① カuttingハンドル **A** を取り外します。
- ② ストッパー **B** を上方向に移動させます。※
- ③ 下 ボルト **I** 2本を外して下ブレード **E** を外し、新しいブレードと交換して下さい。  
その後、上ボルト **H** 2本を外し、同じ要領で上ブレード **D** を交換して下さい。

※ストッパーが邪魔して刃の交換が難しい場合は、ストッパーを外して刃を交換して下さい。

### ◆各部名称



### 注意:

必ず作業終了時は、ハンドルを元の垂直方向に戻して下さい。  
長期使用しない時はハンドルを外して下さい。

〔 ハンドルにスプリングが引掛っており、ハンドルをおろしたまま、もしくは付けたまま置いておくとスプリングが伸びた状態になり、寿命が短くなる恐れがあります。 〕



改造はしないでください。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL: (06)6532-6226 FAX: (06)6541-092